資料２－５

【参考】年度評価（各事業年度の業務実績の評価）の流れのイメージ

― 大阪府地方独立行政法人評価委員会の例 ―

法　人（病院、大学）

業務実績報告書

○自己評価

対象：中期・年度計画の小項目ごとに

評定：Ⅰ～Ⅴの５段階

《評定の判断基準》

Ⅴ…計画を大幅に上回って実施

Ⅳ…計画を上回って実施

Ⅲ…計画を順調に実施

Ⅱ…計画を十分に実施できていない

Ⅰ…計画を大幅に下回っている

・評定の判断理由（実施状況等）を記載

・特色ある取組、法人運営を円滑に進めるための工夫、今後の課題等を自由記述

ヒアリングの実施

自己評価・目標設定の妥当性等を総合的に検証

評価結果(案)への意見申出の機会の付与

※大学法人の教育研究に関する項目については、その特性への配慮から、専門的観点からの評価は行わない。（進捗状況の確認のみ。）

評 価 委 員 会

項目別評価

○小項目評価

対象：中期・年度計画の小項目ごとに

評定：Ⅰ～Ⅴの５段階

《評定の判断基準》

Ⅴ…計画を大幅に上回って実施（特に認める場合）

Ⅳ…計画を上回って実施

Ⅲ…計画を順調に実施

Ⅱ…計画を十分に実施できていない

Ⅰ…計画を大幅に下回っている

・法人自己評価と異なる評定とする場合は判断理由を明示

・特筆すべき点や遅れている点をコメント

小項目評価の結果（集計）を踏まえて

○大項目評価　（↓病院の場合）

対象：中期・年度計画の大項目（第1:サービスその他の業務の質の向上、第2:業務運営の改善・効率化、第3:財務内容の改善）ごとに

評定：Ｓ・Ａ～Ｄの５段階

《評定の判断基準》

Ｓ…特筆すべき進捗状況（特に認める場合）

Ａ…計画どおり（すべての項目がⅢ～Ⅴ）

Ｂ…おおむね計画どおり（Ⅲ～Ⅴの割合が9割以上）

Ｃ…やや遅れている（Ⅲ～Ⅴの割合が9割未満）

Ｄ…重大な改善事項あり（特に認める場合）

・重要度に応じた小項目ごとのウェイトを踏まえる

項目別評価の結果を踏まえて

全体評価

○項目別評価の結果等を踏まえ、中期・年度計画の全体的な進捗状況について記述式で総合的に評価

○この中で、左のように記述式で総合的な評定を行う

・法人化を契機とした改革の取組（リーダーシップ発揮、自律的・機動的・戦略的な運営、財務内容の改善、透明性の向上など）を積極的に評価

《全体評価における評定の例》

「全体として年度計画及び中期計画のとおり進捗している」

※評定のほか、評定の判断理由、総評、評価委としての意見・指摘、考慮した事項、重点的な取組、特筆すべき取組　などを記述

①法人の組織・業務全般にわたる検討

②次期中期目標・計画の策定

の際に、評価結果を活用